令和4年度第1回長浜市地域公共交通会議 会議録

日時 令和4年6月8日(水) 9:50~11:40

場所 長浜市役所本庁舎3階 3-Bコミュニティルーム

出席者
出席：轟会長、江畑委員、野口英樹委員、福島委員、谷川委員、田邊委員、秋山委員、角川委員、松尾委員、田中委員、北村委員、木下委員、北川久継委員、梅原委員、北川奈央委員、服部委員
(以上16人)
欠席：鴻野委員、清水委員、谷口委員、野村委員、野口明委員、脇坂委員
(以上6人)
傍聴者：4名
事務局：都市建設部 横山部長、都市計画課 井口課長
交通対策室 岸田室長、大石主幹、福井主事

【司会：岸田室長、説明：岸田室長、福井主事】

■会議録

1 開会

会議成立の報告

あいさつ 浅見市長(内容省略)

2 会長、職務代理者の選出について

【司会】

会長の選出については、会議規則第4条第2項により委員の互選によるものと定められているが、皆さまに異存がなければ、事務局案を提示させていただいてもよいか。

～異議なし～

それでは会長については、滋賀県内の公共交通に精通されている滋賀県立大学の轟先生にお願いしたいと思うが、いかがか。

～異議なし～

異議なしの声をいただいたので、轟先生に会長をお願いしたいと存じる。お引き受けいただけるか。

【轟委員】

お引き受けする。

【司会】

それでは、本会議の議長については、会議規則第5条第2項により、「会長は、会議の議長となる」とあるので、轟会長は、議長席にご移動をお願いします。

あいさつ 轟会長(内容省略)

【会長】

本題に入る前に会議規則第4条第4項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。」という規定がある。

よろしければ、江畑仁資委員を職務代理者として指名させていただきたいと思うが、いかがか。

～異議なし～

それでは江畑委員よろしくをお願いします。

3 会議の公開について

【会長】

次第の3番目「会議の公開について」だが、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「会議の公開について」は、「附属機関の会議の公開等に関する要綱第2条」の規定により会議の公開又は非公開の決定は、会議の冒頭に当該附属機関の長がその会議に諮って行うものとされている。これまでも、交通会議は公開で行ってきたので、原則公開とさせていただきたく存じる。

ただし、「長浜市情報公開条例第7条」の規定により、「市の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、特定の者に不当に利益を与え、若しくは不利益を及ぼすおそれがあるものについては非公開にすることができる」とされている。今回、協議事項3については、入札に関する情報を含むため、公平公正な入札を行う目的で非公開とさせていただきたく存じる。

協議事項3の非公開について、ご承認いただけたら、傍聴者の皆さまにはご退席をお願いすることになるので、協議事項4を先にご説明し、協議事項3を最後にご説明させていただきたく存じる。

【会長】

事務局の説明のとおりとすることに異議はないか。

～異議なし～

それでは、本会議の会議及び会議録について原則公開とさせていただくが、協議事項3については、入札に関する情報を含むため、非公開とさせていただく。

4 報告事項

(1) 令和3年度の長浜市内地域公共交通の運行実績について

(2) 公共交通利用促進推進事業の実績について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので報告事項は以上とする。

5 協議事項

(1) 市内循環線における実証運行の結果報告並びに判断基準について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

南郷里地域で路線バスをメインに利用されている方の属性は把握されているのか。例えば、通学のために小学生が利用していたり、通院のために高齢の方が利用されていたりするのであれば、利用者数で判断するときには案1は厳しいのではないか。

また、案2について、実証運行導入費用を含めて計算する必要があるのか。

コミュニティバスという観点で、広く皆で負担するという考え方もあると思うので、利用者の属性をお聞きしたい。

【事務局】

利用者の属性までは把握できていないが、時間帯を考慮すると高齢者が多いのではないかと推測している。実際に利用されているのは2～3人であると聞いている。

また、実証運行導入費用については、実際のところは減価償却で経常費用として計上されることになるため、今回5年按分として計算式に組みせていただいた。

【委員】

令和元年に南郷里地域から要望があったということは、地元ニーズがあるのではないかと推測している。

コミュニティバスやデマンドタクシーを利用すれば、停留所まで歩くことになり、ドアトゥドアの移動よりも運動することができるので、医療費の削減にもつながると考える。

実証運行期間を1年間延長したのであれば、何か他に手段を考えて達成できる方向にすすめていってはどうか。

【事務局】

公共交通は目的までの手段として利用するものであるため、地域によってバスがいいのか、他の交通手段がいいのかというところについては、全体のバランスを考慮して、今後検討していく必要があると考えている。

しかし、基準を達成するために実証運行期間だけ利用者を増やして、いざ本格運行化したらほとんど利用がないのでは、本末転倒である。

利用者がいれば、移動手段の確保は必要であると認識しているが、基準を達成するために利用することは、持続可能な公共交通のあり方から考えると、不適切なのではないかと考える。

【会長】

これまでの地元の取組等、ご存じであればご教示願いたい。

【事務局】

利用実績については毎月南郷里地域づくり協議会に詳細なデータをお送りしている。

南郷里地域づくり協議会においても、本実証運行の利用については課題として認識されており、実証運行期間中、地域説明会の開催やチラシ・広報紙配布によるバス利用への啓発活動を複数回実施されている。

【委員】

令和3年8月にダイヤ改正を実施されているため、ダイヤ改正後の効果検証が十分に行われていないのではないかと推測している。

【事務局】

ダイヤ改正後の効果については、しっかりと検証していく必要があると認識している。

今回の効果検証については、令和4年9月末時点で判断する予定であり、令和3年8月から1年間運行した結果をもって判断していこうと考えている。

【会長】

令和3年8月のダイヤ改正はどのような趣旨で行ったのか。

【事務局】

南郷里地域づくり協議会から要望があり、新設した4か所の停留所を北回りにて午前2便、南回りにて午後2便を経由していたものを、午前午後とも北回り南回りで1便ずつ経由するとしてダイヤ改正を行った。

【委員】

今回、案1と案2のどちらかを選出するのか。

【事務局】

選出していただければありがたいと考えている。

【委員】

案1は当初の判断基準に社会情勢等を考慮して設定した数値で、案2は収支率を連動させることで、本実証運行による収支率の改善までは求めないものの、他路線同等に維持できるように設定した数値であるという認識で問題ないか。

【事務局】

問題ない。

【会長】

他に、ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので、協議事項1の新しい判断基準については、

- ① 収支率は、資料の計算式のとおり
- ② 利用者数は、案2のとおり
- ③ その他については、従来どおり

とし、この3つの条件をすべて満たしている場合に本格運行に移行することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

また、効果検証については、今後協議させていただくこととする。

(2) 長浜米原間における公共交通の再編について

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【委員】

参考資料のダイヤ案について、現状のダイヤにあまり影響のない範囲内で提案させていた
だいたダイヤとなっているが、もう少し吟味する必要がある部分が出てくる可能性がある。

その場合、修正させていただくことは可能か。

【事務局】

微調整程度であれば問題ない。

【会長】

前回の書面会議にて、木之本米原線の再編については承認いただいているということだが、
参考までにどのようなご意見等があったのかお示しいただきたい。

【事務局】

前回の書面会議にて、承認するが21人、承認しないが1人という結果であった。

「湖北病院～田村駅間の利用者見込を元に、路線のあり方を検討する必要があるのではないか」、「他市との連携を密にし、利便性向上に努めてほしい」、「実施後6か月～1年間検証
の必要がある」、「財政負担の抑制・削減につながれば良いことだと思う」等のご意見をいた
だいた。

また、「まいちゃん号の運行を田村駅までとせず長浜駅まで運行してはどうか」というご意
見もいただいたが、デマンドタクシーはバスの代替交通であるため、田村駅までの運行とす
る旨、回答させていただいている。

【会長】

いただいたご意見等の趣旨として、長浜市民としては特に影響が大きくないため、承認い

ただいたが、米原市民が長浜市内の施設を利用する場合に不便になるのではないかとのご心配をいただいているものと考えられる。

その部分に関しては、米原市との連携も必要だが、米原市で何らかの対応策を考慮いただく必要がある。

【会長】

他に、ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので、協議事項2は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(4) お市ちゃんタクシー「城山歯科医院」停留所の移設および名称変更について
<協議事項3と順番を入れ替えて協議を行った。>

【事務局】

資料に基づき説明（内容省略）

【会長】

ご意見、ご質問があればお願いします。

【会長】

特にないようなので、協議事項4は、原案どおりこれを承認することに異議はないか。
～異議なし～

【会長】

異議なしと認め、本件は協議が調ったものとする。

(3) 長浜市地域公共交通計画の策定について

【会長】

先程決定したとおり、協議事項3は入札に関する情報を含むため、非公開としたところである。傍聴者の皆さまは、ここでご退席をお願いします。

～傍聴者退席～

<非公開>

委員の意見を踏まえ、仕様書の一部を修正することとする。

【会長】

せっかくの機会なので、委員の皆さまから何かご発言があればお願いしたいと思うが、いかがか。

【委員】

過去の本会議の会議録を読ませていただいた。

その中で、平成29年度に「マイバス意識」について協議されていた。自分隊の親のためとか、近所のおじいちゃん・おばあちゃんのためというように「my」だけでなく「Our」も含めて、コミュニティの親しい人たちのためでもあるという意味で、自分たちのバスだとい

う意識を持ってもらい、取組を強めることがこの超高齢社会において重要だと考えているというご意見を述べられていた。

バスは子どもの目線からすると憧れの対象である。しかし、現在は高齢者目線や移動手段を持たない方に向けた施策が多いように感じた。

バスを身近に感じる世代の育成が必要なのではないか。

自分自身がバスに乗らない理由は、確かに車があるからだが、それ以前にバスが身近ではないのも1つである。子どもの憧れであるバスに乗せてあげたいし、自分も乗ってみたいと思うが、その一歩が踏み出せないのは経験がないからではないかと考える。

現在、免許返納された方に対して4,000円分のバス回数券等を交付されていると思うが、今後は子育て世代にもその目を向けていただきたい。

現在、バスを見かけると利用者が少ないように感じる。子育て世代から見ると、利用者が少ないからこそ迷惑をかけずに乗ることができるのではないかと考えるので、バスの乗車体験等を実施していただければ、バスを身近に感じる世代を育成できるのではないかと考える。

【委員】

近畿運輸局にてバスの乗り方教室や車いす体験等も実施しているので、市や教育委員会を通して申し込みしていただければ、バスを身近に感じる世代の育成につながると思う。

【事務局】

貴重なご意見感謝する。

どうしても目先の話をしてしまいがちだが、今いただいたご意見に関しては、次の世代である子どもたちが公共交通をどのように感じていくかが重要ということ、改めて認識させていただいた。

どのようなことが今後のために必要なかということ十分に検討していきたい。

【委員】

元気なときはバス停まで歩いていくことができるが、障がいのある方や高齢の方は買い物に行きたくても行くことができない。

市として、もっと自由に自宅から目的地に行くことができるような体制をつくることにも目を向けていただきたい。

【委員】

デマンドタクシーというサービスを知らなかったのが、高齢者施設で利用者に一般のタクシーを頼まれて呼ぶことがあった。

そのような施設と密に連携をとっていった方がいいのではないか。

【事務局】

貴重なご意見感謝する。

福祉部局とも連携しながら検討していきたいと考えている。

【会長】

今回、本会議にて法律の枠組みの中で地域公共交通計画の策定していくこととなるが、今ご意見いただいたような子育て世代や福祉、商工など様々な視点でこの機会にご意見をいただき、連携しながら進めていきたいと考える。

今後も貴重なご意見をいただき、反映できるところは反映していきたいと考えているので、よろしく願います。

6 その他

【事務局】

今回の会議については、11月頃を予定しているが、事務局案として11月22日（火）10：00～の皆さまのご都合はいかがか。

【事務局】

特にご意見等ないようなので、この日程で進めさせていただく。詳細については、また改めてご案内する。

7 閉 会

(終了)